

## 木質ペレット！

木質ペレットとはオガ粉やカンナ屑を圧縮整形した小粒の固形燃料のことをいいます。最近の住宅は断熱効果が高く。夕方、部屋でストーブを焚くと朝まで暖かいという事で、鹿児島でも使われる家庭が増えてきました。当初はマキを燃やしていましたが、広葉樹のマキでなくては熱効率が悪いという事でした。杉などの場合はタール分が多くエントツの掃除が大変という事で、広葉樹のマキがDIY等で売られていましたが、最近では火力の調整や供給の手間が掛からない為、ペレットストーブが普及してきました。今までは輸入されたペレットが中心でしたが、国内産の杉や竹のペレットが製造販売されるようになって来ました。ペレットストーブの販売施工をしている知人の案内で、熊本県小国町のペレット工場を見てきました。その工場では小国杉 80 年生以上の優良原木を製材し、床板や壁板を製造販売していました。板の乾燥は地熱を利用しているという事で、地球に優しい乾燥だと自慢されていました。乾燥ムラや仕上がり含水率について質問したところ、製材後、天然乾燥を行い、含水率を揃えてから、板厚により上下の配置を工夫して乾燥庫に入れており、ほとんど 10%以下に均一に乾燥しているとの事でした。

乾燥した粗板を床板や壁板に加工する際に出るカンナ屑でペレットを製造しており、10%以下ではペレットが固まりにくいので含水率を戻しているとの事でした。夏場に造ったペレットを保存し、冬場に販売するが、需要と供給のバランスを見ながら製造しているそうです。80 年以上の原木の手当てから床板・壁板の生産量を無理に増やすことなく能力に応じた生産を保っています。副産物のペレットは安いので運賃を掛けてはコストが合わない所以供給先を絞っているそうです。用途はストーブやボイラーの他、ピザ釜等にも使われており、「温度管理や燃料供給が簡単」だと需要が増えているそうです。

太陽光発電やバイオマス発電用に無理やり木材を伐採して CO<sub>2</sub>を増やすのではなく木材を有効活用した副産物の利用という事からも本当に環境にやさしい製品だと思います。



### 【情報】

**薩摩枇杷の試作品が出来ました！**

薩摩枇杷勢作研究会の方から試作品を見せていただきました。

昨年、鹿児島大学の学生が試作したと新聞で報道されましたが、音がうまく出なかったそうです。今回は、産学官の協力で、昔の薩摩枇杷に似てきたようです。更なる研究試作に期待しましょう

### 【定休日】

6 月は 1, 2, 8, 9, 15, 16, 23, 29, 30 日

7 月は 6, 7, 12, 14, 20, 21, 28 日となります

宜しくお願いします



薩摩枇杷の試作品